

令和5年度

那珂市防災訓練 実施報告書

令和5年7月23日(日)実施

那 珂 市

# 1 訓練の概要

## (1) 目的

近年、全国的に台風や豪雨による浸水被害や土砂災害被害が発生しており、住民の生命・財産を守るための取り組みが求められている。

那珂川及び久慈川に接する本市としても、浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内に居住する住民の避難力向上を目的とした避難訓練を実施し、逃げ遅れゼロを目指す。併せて、市災害対策本部における対応や指示系統の確認、職員による避難所開設及び運営等の訓練により災害時の体制強化を図る。

## (2) 実施日時

令和5年7月23日(日) 午前8時から正午

## (3) 訓練場所

- 市役所本庁舎・・・市災害対策本部設置ならびに運営訓練を実施
- なかLuckyFM公園(那珂総合公園)・・・拠点避難所として開設
- 下江戸公民館、大内公民館、田崎コミュニティセンター、立石公民館、宿集落センター、若宮公民館・・・一時集合場所として開設

## (4) 訓練対象地域(自治会)

市内の那珂川浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内の地域

2地区9自治会 戸多地区(下江戸、大内、田崎、立石、宿、若宮)、五台地区(中台第一、東木倉、西木倉)

## (5) 訓練参加者数

- 市民 120人
- 関係機関 113人
- 市職員 70人

## (6) 訓練協力機関

茨城県、陸上自衛隊 施設学校施設教導隊、那珂警察署、災害時応援協定締結事業者、自治会(自主防災組織)、那珂市消防団、那珂市防災士の会

## (7) 訓練想定

太平洋上で発生した大型で猛烈な台風第8号は、7月22日(土)には勢力を維持したまま関東南部に上陸し、記録的な大雨をもたらしている。この大雨の影響により、本市の避難情報発令の目安となる那珂川の野口観測所では、7月23日(日)9時頃に避難判断水位(4.1m)に到達、13時頃には氾濫危険水位(4.5m)への到達が予想され、その後も水位の上昇が見込まれることから、氾濫の危険性が高まっている。

気象及び河川状況を踏まえ、災害対策本部を設置し避難所開設を開始するとともに、関係機関からの河川情報を受け、警戒レベル3「高齢者等避難」、引き続き警戒レベル4「避難指示」を発令し、住民の避難を開始した。

## (8) 訓練項目

- 災害対策本部開設・運営訓練
- 避難所開設・運営訓練
- 情報発信訓練
- 住民避難訓練・安否確認訓練
- 被害状況確認訓練
- 県防災ヘリによる搬送訓練
- 炊き出し訓練・応急救護訓練

## 2 訓練項目別の評価結果

### (1) 災害対策本部開設・運営訓練

- 災害対策本部員及びあらかじめ定められた本部要員が参集し、体制の再確認を行った。
- 想定した気象状況に応じて、市の取るべき措置等の検討及び意思決定を行った。
- 住民に対する情報伝達の手順、内容等の確認を行った。

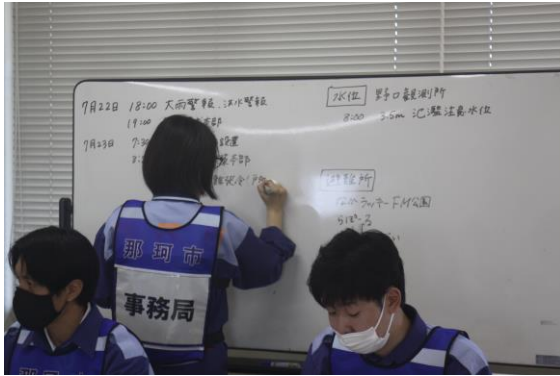
### ■ 課題・改善すべき点及び今後の対応 ■

課題・改善すべき点	今後の対応
○ 形式的なシナリオ型訓練のため、実際の災害時に必要な判断力を養えるかといった点が課題となる。	○ 訓練シナリオについては、より実践的かつ起こり得る最悪な事態を想定する等、実効性のあるものを作成する。また、シナリオの一部をブラインド化する等、不測の事態を導入することで災害時における対応力を強化していく必要がある。
○ 職員の動員をはじめ、各種連絡事項の伝達手段において、LoGoチャットを利用したが、利用方法についてはまだ確立されていない。	○ 災害時の連絡手段として、LoGoチャットを利用していくのであれば、ガイドラインを定める等、職員の共通理解を図っておく必要がある。

※LoGoチャットとは、自治体専用のビジネスチャットツールであり、職員間の連絡手段の一つとして活用しているものです。



<災害対策本部会議>



<被害状況等の情報整理>



<台風の進路図>

## (2)避難所開設・運営訓練

- 避難所運営マニュアルに沿って、開設準備及び運営訓練を行った。
- 訓練参加者自身が段ボールベッドやパーティションの組み立て方を学ぶことで、主体的に避難所運営に参加する意識を持ってもらうことができた。

### ■課題・改善すべき点及び今後の対応■

課題・改善すべき点	今後の対応
○ 今回の訓練は戸多地区6自治会と五台地区3自治会が訓練対象地域となっていたことから、なかLuckyFM公園だけでなく、ふれあいセンターごだいも開設する必要があった。	○ 防災訓練における避難所の開設については、実際の災害時に開設すべき避難所を使用する。
○ 避難所での情報伝達等について、掲示板は準備されていたが、主に音声だけの案内であった。また、気象状況や被害状況等についての情報提供がされていなかった。	○ 避難所における情報提供については、音声だけでなく掲示板への張り紙等、多様な方法を組み合わせて行う。
○ 開設準備の際、円滑に資機材の組み立てが出来ず、完成までに時間を要した。	○ 定期的に職員向けの避難所開設・運営訓練を実施し、人事異動等で避難所運営班となった場合でも、即対応できるよう備えておく必要がある。
○ 今回の訓練は、一時集合場所からバスで移動したため、発災時に自家用車等で移動した場合の、避難所における駐車場の混雑状況等を確認できなかった。	○ 今回の訓練想定上、移動困難者をバスで拠点避難所まで輸送したが、実際に風水害が起きた場合、基本的には自家用車等で避難してもらうこととなるため、今後は自家用車等での拠点避難所への避難訓練を行う。



< 拠点避難所での資機材組立て作業 >



< 拠点避難所での資機材組立て作業 >



< 拠点避難所受付 >

### (3) 情報発信訓練

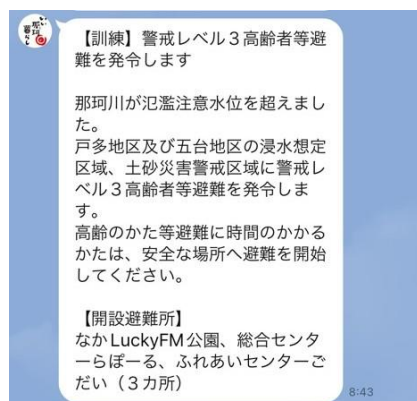
- 防災行政無線、防災アプリ、市ホームページ、LINE、X(旧Twitter)、facebook、メルマガ等を使用して情報発信を行った。
- 避難の呼びかけについては、訓練対象地域の住民が的確に状況を把握し、とるべき行動を理解しやすいよう警戒レベルを用いて「高齢者等避難(レベル3)」、「避難指示(レベル4)」の発令を行った。

■課題・改善すべき点及び今後の対応■

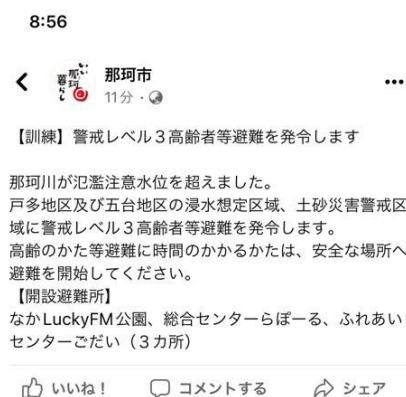
課題・改善すべき点	今後の対応
○ 今回の訓練では、情報発信内容及び発信時刻をあらかじめ伝えていたため、余裕を持って対応することができたが、実際の災害時は突発的に情報を発信することもある。	○ 避難情報等については、情報発信内容や発信時刻を事前に伝えるのではなく、本部会議にて決定後、担当者に発信依頼をする。
○ 訓練終了を伝える情報発信を行わなかったため、訓練後に実際の災害が起きてしまった場合、訓練だと誤認させてしまう可能性がある。	○ 今後は、訓練開始だけでなく、訓練終了を伝える情報発信も行う。



<災害情報の広報>



<LINE画像>



<facebook画像>

#### (4) 住民避難訓練・安否確認訓練

- 事前に作成した「我が家のタイムライン」により、訓練参加者一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、今回の訓練の目的の一つでもある「逃げ遅れゼロ」を意識した避難行動を取ることができた。
- 今回の訓練では、自治会ごとに安否確認シートを作成し避難者の管理を行った。

#### ■課題・改善すべき点及び今後の対応■

課題・改善すべき点	今後の対応
○ 今回の訓練では、避難行動要支援者の参加者がいなかったため、避難支援を想定した訓練を実施しなかった。	○ 訓練の中で、避難行動要支援者の避難を想定した訓練を取り入れ、自治会や民生委員及び福祉施設等との連携を強化していく。
○ 自治会(自主防災組織)で安否確認を行ったのは、訓練参加者のみであったが、実際の災害時はハザード区域内住民全員の安否確認を行わなければならない。	○ 自治会(自主防災組織)において、平時から隣同士の見守りや声かけ等を行い、災害時に地域住民同士で安否確認が出来るよう連絡体制を構築しておいてもらう。
○ 避難先に到着後、事前に作成した「我が家のタイムライン」を検証する時間がなかった。	○ 今後の訓練では、避難所到着後、那珂市防災士の会等の協力の下、避難経路や所要時間等の振り返りを実施する。
○ 自治会(自主防災組織)と事務局との連絡手段としてIP無線機を使用したがる、自治会によっては、IP無線機の管理や使用方法が正しくできていないところもあった。	○ 毎月実施しているIP無線機試験放送に可能な限り参加してもらい、常時通信可能な状態にしておくよう指導する。



<一時集合場所での避難誘導>



<拠点避難所に到着>

### (5) 被害状況確認訓練

○災害時に正確な情報を早期に把握することを目的に、各班の管理施設や地域の被害状況の巡回調査を行った。

#### ■課題・改善すべき点及び今後の対応■

課題・改善すべき点	今後の対応
○巡回結果の報告手順が定まっていない。	○今後、報告の仕方の手順及び方法について定める必要がある。

### (6) 茨城県防災ヘリによる搬送訓練

○増水した那珂川に取り残された要救助者を想定し、吊り上げ救助訓練を実施した。  
○茨城県航空隊員と市消防本部職員にて無線通信を行い、那珂西リバーサイドパークから、なかLuckyFM公園野球場へ救助者を搬送した。

#### ■課題・改善すべき点及び今後の対応■

課題・改善すべき点	今後の対応
○防災ヘリの活用について。	○救助訓練だけでなく、防災ヘリによる被害状況把握や物資輸送訓練等も実施したい。



<那珂西リバーサイドパークで救出>



<なかLuckyFM公園に搬送>



(7)炊き出し訓練・応急救護訓練

- 陸上自衛隊 施設学校施設教導隊の野外炊具を使用し、備蓄食であるアルファ米を食料として提供した。
- 市消防職員による、AEDを使用した心肺蘇生法等の応急救護訓練を実施した。

■課題・改善すべき点及び今後の対応■

課題・改善すべき点	今後の対応
○ 応急救護訓練の時間配分が短く、しっかり話を聞けなかったとの意見あり。	○ 訓練項目について、ある程度目的を絞って実施し、時間的な余裕を確保する必要がある。



<陸上自衛隊の野外炊具を利用したアルファ米の試食>



<市消防職員による応急救護訓練>



<AEDの操作方法講習>

(8)その他

○災害時応援協定締結事業者による、災害時の活動紹介や支援物資の提供を行った。

○陸上自衛隊 施設学校施設教導隊や那珂警察署による特殊車両の展示を行った。



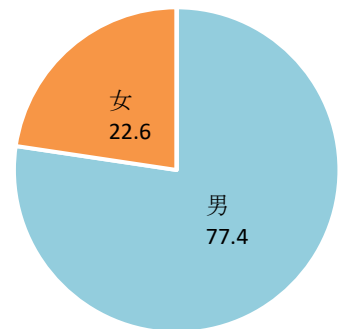
### 3 アンケート結果

#### 【概要】

訓練参加住民を対象にアンケートを実施し、106人から回答を得た。

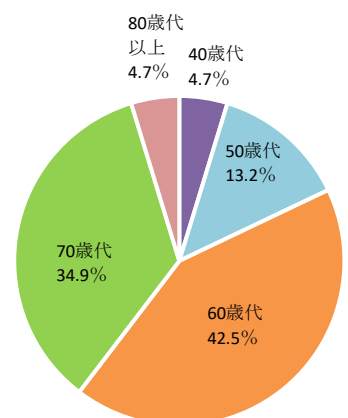
質問1 性別を教えてください。

選択肢	回答数	構成比
男	82	77.4%
女	24	22.6%
その他	0	0.0%
答えたくない	0	0%
合計	106	100.0%



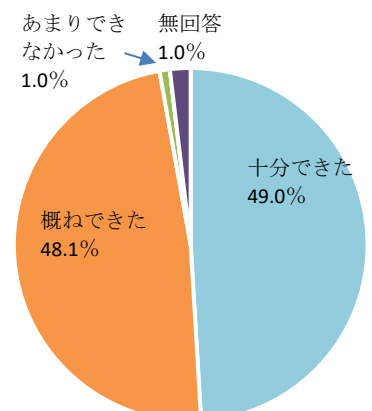
年齢を教えてください。

選択肢	回答数	構成比
10歳代	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	0	0.0%
40歳代	5	4.7%
50歳代	14	13.2%
60歳代	45	42.5%
70歳代	37	34.9%
80歳以上	5	4.7%
合計	106	100.0%



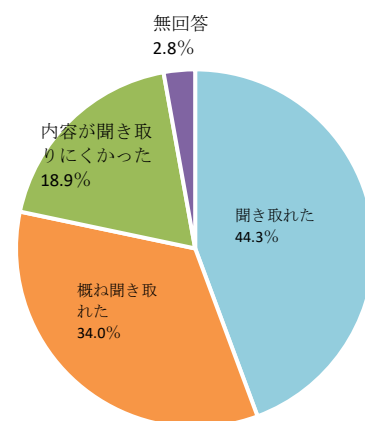
質問2(1)防災行政無線をきっかけに一時集合場所に集合し、拠点避難所に避難していただきました。スムーズに避難開始できましたか。

選択肢	回答数	構成比
十分できた	52	49.0%
概ねできた	51	48.1%
あまりできなかった	1	1.0%
全くできなかった	0	0%
無回答	2	1.9%
合計	106	100.0%



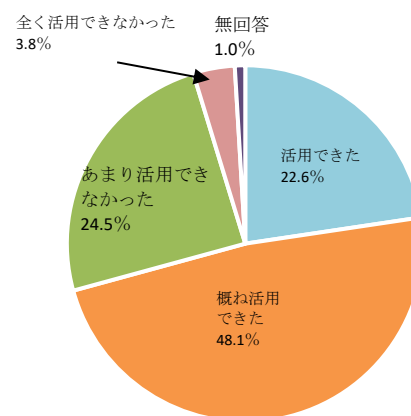
質問2(2)訓練では防災行政無線で情報を放送しましたが、内容を聞き取ることができましたか。

選択肢	回答数	構成比
聞き取れた	47	44.3%
概ね聞き取れた	36	34.0%
内容が聞き取りにくかった	20	18.9%
聞き取れなかった	0	0%
無回答	3	2.8%
合計	106	100.0%



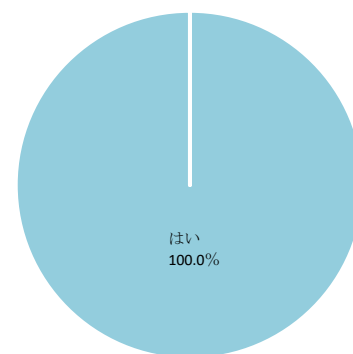
質問2(3)「マイタイムライン」を活用できましたか。

選択肢	回答数	構成比
活用できた	24	22.6%
概ね活用できた	51	48.1%
あまり活用できなかった	26	24.5%
全く活用できなかった	4	3.8%
無回答	1	1.0%
合計	106	100.0%



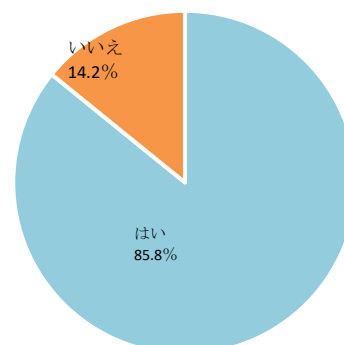
質問3(1)自宅から最寄りの避難場所や避難所を知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
はい	106	100.0%
いいえ	0	0%
合計	106	100.0%



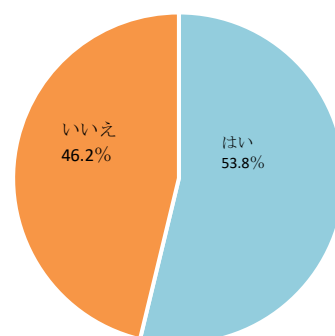
質問3(2)避難場所や避難方法について、ご家庭で話し合ったことがありますか。

選択肢	回答数	構成比
はい	91	85.8%
いいえ	15	14.2%
合計	106	100.0%



質問3(3)非常時に備え、食料などの備蓄を行っていますか。

選択肢	回答数	構成比
はい	57	53.8%
いいえ	49	46.2%
合計	106	100.0%

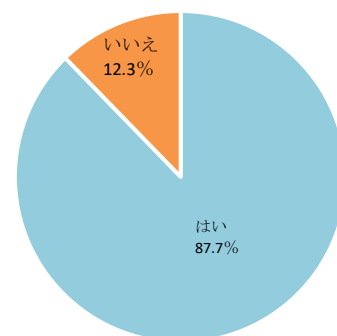


「はい」と答えた場合、具体的な備蓄内容をお答えください。

- ・飲料水500mlを2日分
- ・レトルトご飯を2日分
- ・レトルトカレーを2日分
- ・トイレトペーパーを30日分
- ・ティッシュペーパーを30日分
- ・チョコレートを3日分
- ・羊かんを5日分
- ・缶詰を10日分
- ・乾麺を60日分

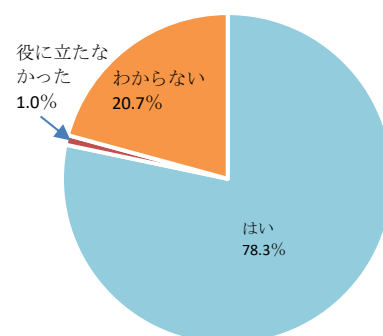
質問3(4)那珂市の防災マップは自宅に置いてありますか。

選択肢	回答数	構成比
はい	93	87.7%
いいえ	13	12.3%
合計	106	100.0%



質問4(1)今回の防災訓練は役に立ちましたか。

選択肢	回答数	構成比
役に立った	83	78.3%
役に立たなかった	1	1.0%
わからない	22	20.7%
合計	106	100.0%



質問4(2)役に立った点・役に立たなかった点について自由にご記載ください。

○役に立った点

- ・救急救命時の対応方法について学べたこと。
- ・AEDの使用方法や胸骨圧迫の方法を学べたこと。
- ・非常食や簡易トイレが参考になった。

- ・行政関係団体や各種団体の協力・支援活動を知ることができた。
- ・避難所でのパーテーションや段ボールベッド等の確認ができた。
- ・避難手順が分かった。
- ・避難する場所や資機材等の確認ができた。
- ・防災訓練を通じて他の自治会の方々との交流ができた。
- ・今回の訓練をきっかけに備蓄品の点検ができた。
- ・防災について関心が高まった。

○役に立たなかった点

- ・個人、世帯ごとに避難行動を確認できるとよかった。
- ・一時集合場所から拠点避難所へバスで送迎されたこと。実際の風水害時は自家用車での移動となるので、その際の駐車場の状況等を確認することができなかった。
- ・風水害時の一時集合場所として、公民館は不適切であると感じた。

質問5 防災訓練に対する意見を自由に記入してください。

- ・洪水ハザードマップの周知徹底を行う。
- ・年に何度か防災訓練を実施していただき、突然の災害に備える意識を持つことが必要である。
- ・拠点避難所のトイレを見たが、老人にとって和式は大変だと感じた。
- ・貴重な体験ができて良かった。
- ・防災無線の屋外放送と屋内受信機の音声重なってしまい聞き取りづらかった。
- ・救命講習会の時間を自由時間にも受講できれば、個別で受講希望者がいたのではないかな。
- ・避難先についてはあらかじめ決めておき、避難した人は班長や自治会長に報告する流れを作っておくべき。
- ・災害時に、自宅が不在になる場合の空き巣対策について教えてほしい。
- ・もっと幅広い年代の方々に訓練参加してもらいたい。
- ・訓練を夏に実施するのではなく、春や秋に実施してほしい。
- ・非常食が非常に不味かった。
- ・気温に応じた対応が不十分であった。

## 令和5年度 那珂市防災訓練に関するアンケート

本日は、令和5年度那珂市防災訓練にご参加いただき、ありがとうございます。  
今後の市の防災行政の参考とさせていただきますため、アンケート回答にご協力をお願いします。

質問1. あなたのことについて伺います。(○をつけてください)

- (1)あなたの年代  
【 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上 】
- (2)あなたの性別 【 男 ・ 女 ・ その他 ・ 答えたくない 】
- (3)お住まいの地区・自治会名  
【 住 所 : 那珂市\_\_\_\_\_】※大字までで結構です  
【 自治会名 : \_\_\_\_\_】

質問2. 本日の訓練について(○をつけてください)

- 1 防災行政無線をきっかけに一時集合場所に集合し、拠点避難所に避難していただきました。  
スムーズに避難開始できましたか。  
【 十分にできた ・ 概ねできた ・ あまりできなかつた ・ 全くできなかつた 】
- 2 訓練では防災行政無線で情報を放送しましたが、内容を聞き取ることが出来ましたか。  
【 聞き取れた ・ 概ね内容が聞き取れた ・ 内容が聞き取りにくかつた ・ 聞こえなかつた 】
- 3 「マイタイムライン(我が家のタイムライン)」を活用できましたか。  
【 活用できた ・ 概ね活用できた ・ あまり活用できなかつた ・ 全く活用できなかつた】

質問3. 日頃の防災対策についてお聞きします(○をつけてください)

- 1 自宅から最寄りの避難場所や避難所を知っていますか。 【 はい ・ いいえ 】
- 2 避難場所や避難方法について、ご家庭で話し合ったことがありますか。 【 はい ・ いいえ 】

3 非常時に備え、食料などの備蓄を行っていますか。【 はい ・ いいえ 】  
また、「はい」と答えた場合、具体的な備蓄内容をお答えください。

( ) を ( ) 日分  
( ) を ( ) 日分  
( ) を ( ) 日分  
( ) を ( ) 日分

4 那珂市の防災マップは自宅に置いてありますか。【 はい ・ いいえ 】

質問4. 今回の防災訓練について(○をつけてください)

1 今回の防災訓練は役に立ちましたか。  
【 役にたった ・ 役に立たなかった ・ わからない 】

2 役に立った点・役に立たなかった点について自由にご記載ください。

役に立った点・・・

役に立たなかった点・・・

質問5. 防災訓練に対する意見を自由に記入してください。(要望や改善点など)

アンケートへのご協力ありがとうございました。

※後日、那珂市役所防災課職員が各自治会長まで取りに参りますので、  
記載が終わりましたら各自治会長までお渡し願います。



水害に対応した

## 那珂市防災訓練を実施します

近年、全国的に台風や豪雨による浸水被害や土砂災害被害が発生しています。いざというとき、慌てず迷わず家族や自分の安全を確保し、適切に対処できるようにするため、ぜひご参加ください。

令和5年7月23日(日)

午前8時から正午まで 小雨決行(荒天中止)



対象:次の地区にお住まいの方  
戸多地区(下江戸・大内・田崎・立石・宿・若宮)  
五台地区(中台第一・東木倉・西木倉)

大雨により河川の水位が上昇したことに伴う避難訓練を実施します。

- ・防災無線から避難に関する訓練放送を行います。
- ・「マイ・タイムライン」を活用した住民避難訓練を行います。
- ・拠点避難所である「なか LuckyFM 公園 (那珂総合公園)」にて、炊出し訓練等を行う予定です。

※「マイ・タイムライン」とは、いざというときに慌てることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。

※ 拠点避難所には、災害時応援協定を締結している事業所等を紹介するブースを多数設ける予定です。

※参加者のとりまとめについては、別途自治会にて行われます。

お問い合わせ:

那珂市役所 防災課 防災グループ Tel.029-298-1111 内線 442・443・444